

# 「回復の時」

使徒 3 : 20

全世界で感染している新型コロナウイルスによるパンデミックがこんなにも続くとは誰も思いませんでした。そのような中で聖書は、回復の 때가 主の御前から来ると宣言しています。何という力強い宣言でしょう。

## ■ 回復の意味

回復の第一の意味は、「新創造」です。初めに神は天と地を創り、自然界を整え、ご自分の形に似るように人間をお造りになりました。そして『生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。』(創 1:28)と祝福されました。しかし、アダムとエバは神の御心に反逆し、悪魔の誘惑に負けて、食べてはならないという実を取って食べ、悪魔の支配の中に入ってしまった。しかし、人間が罪を犯したその日のうちに神様は、『わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み碎き、おまえは、彼のかかとかみつ。』(創 3:15)と女の子孫を送ると言われました。この女の子孫こそ、イエスキリストです。イエスキリストは罪のない誕生、罪のない生涯でした。だからこそ罪ある人間の身代わりとして十字架にいのちを捨ててくださったのです。そして十字架の上で、『すべてが終わった、完了した (Tete,lestai)』(ヨハネ 19:30)と言われました。何が完了したのでしょうか。それは、罪を犯した人間の罪を赦し、永遠に滅んでいかなければならない死の世界から、イエスキリストが三日目に甦ったことによって私たちが生まれ変わらせると言うのです。『だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。』(II コリ 5:17) このようにして、神はキリストによって私たちが回復(新創造)されるのです。

回復の第二の意味は、イエスキリストの再臨によってすべてのクリスチャンたちが「栄化」されるということです。救われ聖められるだけでなく、私たちがキリストの姿に変えられる、これが栄化です。『主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らと一っしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることになります。こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。』(I テサ 4:16-18) まずは主にあつて先に召された方が甦らせられ、そして生き残っていた私たちが加えられて栄化され、いつまでも主と共にいるのです。なんと素晴らしい約束でしょうか。

回復の第三の意味は、「万物更新」です。『また私は、新しい天と新しい地とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。…』(黙 21:1-7) 新しい天と新しい地が用意され新しい民たちが完全に一体となり、そこにはもはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもなくなり、すべてが新しくされるということです。このような驚くべき神様のご計画と成就の回復の 때가 来ると言われているのです。

## ■ 回復の条件

回復には、条件があります。『それは、主の御前から回復の 때가 来る』(使 3:20) ということです。『定めの時が来たので、神はご自分の御子を遣わし、この方を、女から生まれた者、また律法の下にある者となさいました。』(ガラ 4:4) 神様のタイミングは絶妙で完全です。イエスキリストは最も良い時においてになりました。キリストがお生まれになったのは、丁度ローマ帝国が世界を治めて平和がやってきた時でした。ギリシャ語が世界の共通語になり、ローマ帝国としてはその国の文化を受け入れるという柔軟な時だったのです。そしてキリストは三十年の自ら隠れた生活をしました。罪を犯すという生活は抜きにして、イエスキリストは人間の経験する苦しいこと、辛いこと、嫌なことを全部経験されたとヘブル人の手紙に書いてあります。このようなお方が約束されただけでなく、神の行いによって実現されたのです。このお方の故に、『主の御前から』このような回復の 때가 来るのです。神様の前に出るとき、あまりにも罪深い汚れが私たちが包んでいるままでは行くことができません。しかし、『もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から

私たちがきよめてくださいます。』(Iヨハ 1:9)とあります。私たちはキリストの十字架と復活を通して、この回復にあずかることができるのです。だからこそ自分がどんなに罪深いと分かっても、イエス様を見ましょう。そうすればこのお方は限りなく赦すお方、聖めるお方、強めるお方、慰めるお方、助けるお方なのです。このお方は私たちと共にいて励まし、救い、力づけてくださいます。このお方さえいれば私たちは満たされ強くなれるのです。

## ■ 回復の輝き

イエスキリストの輝きはまさに「栄光の輝き」です。『私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。』(II コリ 3:18)とあるように、やがて新天新地が実現され、私たちはキリストの形に完全に変わられます。その完成の時を待つ準備の中でも、御霊の働きによって私たちは回復の輝きを地上で持つことができると言われています。私たちがどんな時でもこのイエス様に顔を向け続けている時、聖霊様によって私たちの自己中心、情欲中心、この世に做っていくところから変えられていきます。

『神は聖徒たちに、この奥義が異邦人の間にあつてどのように栄光に富んだものであるかを、知らせたいと思われたのです。この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。』(コロ 1:27) ユダヤ人は初めからまことの神様を信じていた民族ですが、異邦人は今まで神様というお方を知らなかった人々です。ところがイエスキリストに出会ってこのような栄光に富んだ変化が与えられたのです。私たちは自分 100%のところから位置交換をして 100%イエス様になっただけではなく、どんなことが起ころうとキリストが離れず私たちにうちに住んでくださるといふのです。イエス様と共に生きる幸い、この回復の輝きは栄光の輝きだけでなく「栄光の望み」です。私たちは日ごとに朝毎に新しくされ、『まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来る』(詩 23:6) のです。『もはや、のろわれるものは何もない。神と小羊との御座が都の中にあつて、そのしもべたちは神に仕え、神の御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の名がついている。』(黙 22:3-4) 昔、奴隷は誰のものか分かるように主人のイニシャルが焼き印として押されていました。私たちにも神のものという印が押されています。『もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、彼らにはともしびの光も太陽の光もいらぬ。彼らは永遠に王である。』(黙 22:5) 私たちは以前は戦いに敗北している状態でした。しかし、永遠の王であり栄光の勝利者であるイエス様の輝きに、私たちもあずかっていくことができるのです。このような回復は世界中どこを見ても、どんな方法でも実現できません。聖書だけがハッキリと『主の御前から回復の 때가 来る』と言われている。どんなにこの地上において不安があろうと、希望にあふれる驚くべき神様のご計画の中、『主の御前から回復の 때가 来る』のです。主の栄光が表され、主の御心が人生に起こるために必要な回復がキリストによって私たちの人生になされることを信じましょう。

## まとめ…

苦難の中であっても、聖霊によって生まれ変わった私たちは、後に来られるイエスキリストの救いの日に向かって希望を持って進むことができます。そしてキリストを王の王、主の主として迎え、この回復の輝きをもって前進していくことができます。そのことを信じましょう。一人でも多くの方が、少しでも早く、私たちを通して神様の驚くべき救いの中に入ってくる事ができるよう、神の御国が実現するように前進していきましょう。

(要約者:西崎芳栄)

(2022年 2月13日)